



区議会第4回定例会本会議〜田中まさや幹事長が一般質問①

介護保険料の据置き、介護職員の処遇改善など求める

第4回区議会定例会の本会議3日目の11月29日、田中まさや幹事長が、日本共産党区議団として長谷部区長に質問しました。

高齢者のくらしに重大な影響を与える次期高齢者保健福祉計画等の住民説明会が12月4日からはじまりました。私も参加しましたが、参加者から「介護保険料を値上げしないで」「敬老祝金は削減でなく充実を」などの切実な声が上がっています。今号では、私の質問の「高齢者福祉と介護保険について」の(1)〜(3)をご紹介します。(質問、区長答弁とも要旨です)

「(1)第9期渋谷区高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画について」

2024年度から3年間の第9期渋谷区高齢者保健福祉計画と同介護保険事業計画は、10月に「素案」が公表され、12月から4カ所での住民説明会とパブリックコメントが実施されます。

「(2)介護保険料の据置きと介護職員の処遇改善」

厚労省は、第9期の介護保険料の据置きを、単身で収入220万円〜260万円の場合、2割に引上げようとしています。220万円になれば、渋谷区では4300人以上の窓口負担が2倍に引き上げられることとなります。さらに65歳以上の保険料引き上げ、介護老人保健施設などの多床室室料の全額自己負担化まで検討しています。

「(3)介護職員の処遇改善」

介護職員の賃金は、全産業平均と比べて依然として月7万円も低いのが実態です。政府が、補正予算で示した6000円の引き上げ案に対して、関係者から「桁違う」と厳しい批判が寄せられています。

渋谷区の介護事業所調査では、67.2%が「介護職員が不足している」と回答しており、その原因は低賃金と劣悪な労働条件にあることは明らかです。

「(1)第9期渋谷区高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画について」

「(2)介護保険料の据置きと介護職員の処遇改善」

「(3)介護職員の処遇改善」

「(4)地域包括支援センターの体制強化」

「(5)認知症施策について」

「(6)特養老人ホームの増設」

「(7)敬老祝い金について」

田中まさや幹事長の代表質問

【主な項目】

1. 高齢者福祉と介護保険について

- (1)第9期渋谷区高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画について
- (2)介護保険改悪の撤回と公費負担の拡大を
- (3)介護職員の処遇改善を
- (4)地域包括支援センターの体制強化
- (5)認知症施策について
- (6)特養老人ホームの増設
- (7)敬老祝い金について

2. ジェンダー平等について

- (1)「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」について
- (2)男女賃金格差是正について

3. 障がい者福祉施策について

- (1)障がい者福祉サービスの切れ目のない支援を
- (2)視覚障がい者の情報のバリアフリー化について

「(1)第9期渋谷区高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画について」

「(2)介護保険料の据置きと介護職員の処遇改善」

「(3)介護職員の処遇改善」

「(4)地域包括支援センターの体制強化」

「(5)認知症施策について」

「(6)特養老人ホームの増設」

「(7)敬老祝い金について」